

## 平成21年度宮古群島病害虫発生予報第2号(5月予報)

### 5月の気象予報

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

	気 温	降 水 量	日照時間
高い(多い)	40	30	30
平 年 並	30	30	40
低い(少ない)	30	40	30

(平成21年4月24日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

### 地点別の平年値

	平均気温( )	最高気温( )	最低気温( )	降水量(mm)	日照時間(h)
宮古群島(宮古島)	24.6	27.4	22.5	209.3	147.6

(沖縄気象台発表・統計期間1971～2000・資料年数30年)

### 5月の発生予報および防除上の注意事項

#### 1 さとうきび

春植えにおけるメイチュウ類の防除対策

- 4月のカンシャシクイハマキ合成性フェロモントラップ調査によるトラップ当たりの日当たり誘殺虫数は、61.3頭(前年114.2頭、平年78.5頭)と平年並であった。
- 加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、生育初期の防除に重点をおく。
- 有効分けつ期の芯枯れ防止をねらい、食入初期の幼虫を対象にした薬剤防除を行う。
- 培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。

サキシマカンシャクシコメツキ(ハリガネムシ)の防除対策

- 4月の合成性フェロモントラップ調査によるトラップ当たりの日当たり誘殺虫数は0.2頭(前年0.3頭、平年0.6頭)と平年よりやや少なかった。
- 更新圃場は速やかに古株などの残渣を処理し、植え付けまでに数回耕耘して幼虫密度の低減を図る。
- 培土時に他の土壌害虫の防除も兼ねた薬剤を選定し施用する。

#### 2 マンゴー

生理落果～果実肥大期の病害虫防除対策

- 4月下旬の調査の結果、炭疽病、チャノキイロアザミウマ、ハダニ類の発生が認められた。
- 病害対策として、施設内の通気をよくするとともに、袋がけ前に薬剤による予防に努める。また罹病した葉・花序等は除去し、施設外へ持ち出し処分する。
- チャノキイロアザミウマの発生源となる不必要な新葉を除去し、ビニール袋に密閉して持ち出し処分する。
- チャノキイロアザミウマやハダニ類は水に弱いので、晴れた日に灌水を兼ねて動噴で洗い流すことも密度を下げるのに有効である。
- チャノキイロアザミウマは薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。